

〈研究ノート〉

世界システムの GCES 構造と 「制度設定者のレント」をめぐる闘争 その2

杉崎 京太

1. はじめに
2. 世界システムの GCES 構造と「制度設定者のレント」をめぐる闘争
3. 小 括 —膨張する GCES 構造がもたらす危機—

1. はじめに

昨年度の小論で、「国家、貿易、世界市場」という「三層構造」は、19世紀の段階で提示されたプランでしかないが、資本の世界性と「労資関係の国家内包摂」の矛盾として捉え、マンデルとマルクスの所説を批判的に捉え直すことにより導出した GCES 構造論を用いることで、下記のように GCES 構造を定式化した。

$$GCES \cong GC \cdot E_{\kappa-\pi} \cdot S_{n_g} \left[S_{n_\chi} \{ (DC \cdot L) R \} \right] \cdot BCP$$

ここでは、GCESの構造は次の諸要素により分節化される。

GC 世界資本； $E_{\kappa-\pi}$ 為替（中心・周辺）； S_n 国家 n ； S_g 対外国家； S_χ 対内国家； DC 国内資本； L 労働； R 他の社会構成体； BCP 国境を越える人々である。

世界システムとしての GCES 構造は、対外国家と対内国家の結節が分裂する契機をもち、かつ対内国家が資本賃労働関係とその他の社会的諸関係を統括するシステムを内包していることから、その構造を定式化したものである。

そこで「制度設定者のレント」をめぐる闘争について、これまで考察してきた論点を整理することが本稿の課題である。これまでに提示した論点を

命題として整理したものであり、その実証は別の機会にゆずりたい。

2. 世界システムの GCES 構造と「制度設定者のレント」をめぐる闘争

命題1 GCES 構造のもとで、「制度設定者のレント」をめぐる闘争は全方向的契機をもつ。

GCES 構造は、資本の世界性と国家の領域性を調整するメカニズムであるが、「世界市場・国際商業・国家」(マルクス)の三層構造において未分化だった、資本の自由な移動と国家による自由な金融政策の関係性を表したマンデルの「不可能な三角形」を議論の基礎としている。資本の世界性は移動の自由のために制度の同質化を求め、国家は領域内の DC-L 関係を調整するために、財政・金融主権の行使を求める。自由主義のもとでは、制度改編にともなう「制度設定者のレント」の獲得をめぐる、全方向に闘争(対立と協調)が展開する。

命題2 世界システムとしての GCES (Global Capital Exchanges States) 構造のもとでは、「制度設定者のレント」をめぐる闘争(対立と協調)は GC と S の対立に収斂する。

世界的に移動の自由を獲得した「世界的資本 GC」と「領域的国家 S」との間には、根本的な矛盾が存在する。なぜなら、無国籍な GC は利潤の最大化をもとめて自由に国家間を移動するのに対して、領域的国家 S は、GC の移動を規制して国内政策に順化させようとするからであり、そのための制度を設定し、レントを獲得しようとするからである。これに対して、GC は、世界的拡張性(「世界市場創出傾向」)を可能にする制度設定を行おうとする。GC が、グローバルな同質的市場制度を設定して自由な移動を可能にしようとするのに対して、S は、統括する資本賃労働関係と他の社会的諸関係に即して制度設定を追求するため、両者の間には根本的な矛盾が存在する。

GCES 構造においては、GC と S の間の矛盾は、E において調整される。その際、E のメカニズムは、GC にプラットフォームとしての国際資本市場を提供する中心部と、自由な移動を受け入れる周辺部との間で、中心・周辺

(κ - π) 関係を構成し、そのことによって、不均等で多様な資本主義の発展をもたらす。かくして、世界システムとしての GCES 構造のもとでは、GC の自由な移動を通じて、「制度設定者のレント」をめぐる闘争(対立と協調)があらゆる方向に展開する。これは GC がその自由を獲得するために、既存の制度の改編を要求するからである。GC はこの世界システムにおいて、自由主義の先導者であり、制度設定者であるが、既存の制度と社会関係に対する破壊者としての役割をはたすことにもなる。このような破壊者としての「暴力性」が容認されるのは、その闘争(対立と協調)の両義性が、市場メカニズムのもとでは、経済活動として不可視化されるからである。

命題3 世界システムとしての GCES 構造のもとでは、過剰人口の移動を軸にグローバルな労働移動が発生する。

GCES 構造のもとでは、圧倒的な GC の前に小国 S は、GC の要求を受容する対外国家と、国内の社会的諸関係の利害を代表する対内国家に分裂する可能性に、常に晒されている。

ここでは GC は S の政策に順化されるべき対象ではなく、国内資本 DC と対立し、国内資本 DC と賃労働 L 関係や他の社会的諸関係 R と対立する契機をもつ進入者であるが、その闘争(対立と協調)の両義性は、市場メカニズムのもとでの自由な経済活動において不可視化される。

BCP の移動は、新大陸の「無主地開発」をめぐるのは、GC と一体となって展開したが、DC-L 関係に影響を及ぼすため、S の主権行使により制限されることになる。

命題4 世界システムとしての GCES 構造の不安定性は、GCES 構造の転換を必要とする。

GC による小国 S への内部浸透や、GC による S の商品化により翻弄される小国群は、国家連合や国際機関の力を借りて GC を規制しようとする。世界的なピラミッド構造の上層部によって構成される上層的世界国家ではなく、世界の困窮者総体に責任を負う世界国家 S_0 による GCES 構造の再編の可能性が問われることになる。

3. 小 括 —— 膨張する GCES 構造がもたらす危機

今にして思えば牧歌的でさえあるマルクスの「国家・貿易・世界市場」の三層構造の時代から、200年もたないうちに、資本主義は、際限なく膨張する GCES 構造を制御する有効な手段をもたないまま、不均衡を拡大しながら地球規模の環境の上限に達しようとしているかのようである。それ自体、本来は人間の労働の果実であるべき GC を、人類知によってコントロールすることが求められている。

参考文献

- 青才高志(1990)『利潤論の展開—概念と機構—』時潮社。
- 石崎昭彦(1990)『日米経済の逆転』東京大学出版会。
- 伊藤誠(2006)『幻滅の資本主義』大月書店。
- 伊藤誠(1989)『資本主義経済の理論』岩波書店。
- 稲富信博(2000)『イギリス資本市場の形成と機構』九州大学出版会。
- 宇野弘蔵(1962)『経済学方法論』東京大学出版会。
- 青木昌彦(1995)『経済システムの進化と多元性—比較制度分析序説—』東洋経済新報社。
- 青木昌彦/奥野正寛編(1996)『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会。
- 大内力(1970)『国家独占資本主義』東京大学出版会。
- 大内力(1983)『国家独占資本主義・破綻の構造』お茶の水書房。
- 大内力(1991)『世界経済論』東京大学出版会。
- 小幡道昭(1988)『価値論の展開—無規律性・階級性・歴史性—』東京大学出版会
- 加藤栄一(1979)『組織資本主義論と現代資本主義論』『経済評論』1979年7月号。
- 加藤栄一(2006)『現代資本主義と福祉国家』ミネルヴァ書房。
- 金子勝(1997)『市場と制度の経済学』東京大学出版会。
- 河合正弘(1994)『国際金融論』東京大学出版会。
- 河村哲二(1996)『制度と組織の経済学』日本評論社。
- 工藤章(1999)『20世紀ドイツ資本主義』東京大学出版会。
- 菅原陽心(1997)『商業資本と市場重層化』御茶ノ水書房。
- 杉崎京太(1996)『鉄鋼業の盛衰』、湯沢威編『イギリス経済史』有斐閣。
- 杉崎京太(1998),(1999),(2000),(2001),(2002),(2003),(2004),(2005),(2006-c),(2007),(2008-c),(2009-c),(2010-c),(2011),(2012),(2013),(2014),(2015),(2016)。「研究ノート—グローバリゼーションの今日

的意味をめぐって (1), (2), (3), (4), (5), (6), (7), (8), (9), (10), (11), (12), (13), (14), (15), (16), (17), (18), (19) 津田塾大学『国際研究所報』第 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51 号。

杉崎京太 (2006-a) 「欧州統合下の FDI の展開 —「神聖ならざる三位一体」から「歪んだ四面体」の溶解へ—」津田塾大学『国際関係学研究』第 32 号。

杉崎京太 (2006-b) 「研究ノート「グローバリゼーション」と欧州統合の現段階 —市場の流動化と社会的規制をめぐって—」津田塾大学国際研究所『総合研究』第 4 号。

杉崎京太 (2007) 「景気循環の収斂と乖離の基礎過程 —グローバル化と欧州統合の現段階—」小川英治編『EU スタディーズ 2 経済統合』勁草書房。

杉崎京太 (2008-a) 「〈研究ノート〉グローバル化と『制度設定者のレント』をめぐる諸問題 —いくつかの命題をめぐって—」『津田塾大学紀要』第 40 号。

杉崎京太 (2008-b) “Convergence and Divergence of Business Cycles in European Integration: Reconsidering the Meaning of ‘Economic Integration’ in the Context of Globalisation”, 津田塾大学『国際関係学研究』No.34。

杉崎京太 (2009-a) 「〈研究ノート〉『制度設定者のレント』をめぐる一考察 —『内部労働市場論』に関するいくつかの命題をめぐって—」『津田塾大学紀要』第 41 号、(pp.135-144)。

杉崎京太 (2009-b) 「『大転換』再考 —『溶解する四面体』モデルとの関連で—」津田塾大学『国際関係学研究』No.35。

杉崎京太 (2010-a) 「〈研究ノート〉グローバル資本主義と『制度設定者のレント』—資本主義と制度問題に関するいくつかの命題—」『津田塾大学紀要』第 42 号。

杉崎京太 (2010-b) 「欧州通貨統合と『大西洋回廊』の構築 —ドル・ユーロ連結「対環節」の不安定性をめぐって—」津田塾大学『国際関係学研究』No.36。

Takamoto Sugisaki, <Research Note> A “Dissolving Tetrahedron” Model and the “Libsycyti” Model in the Global Financial Crisis: The Market Creator’s Rent in the EU” 津田塾大学『国際関係学研究』2011年3月、No.37 (pp.1-8)。

杉崎京太 (2011) 「〈研究ノート〉 制度転換における『制度設定者のレント』をめぐって—制度としての資本主義の体系に関するいくつかの命題—」2011年3月『津田塾大学紀要』第43号、(pp.141-149)。

杉崎京太 (2012) 「〈研究ノート〉 世界市場における『制度設定者のレント』をめぐって—資本主義における「制度設定者のレント」2012年3月『津田塾大学紀要』第44号、(pp.69-75)。

杉崎京太 (2013-a) 「〈研究ノート〉 贈与における『制度設定者のレント』をめぐって—制度としての資本主義の体系に関するいくつかの命題—」2013年3月『津田塾大学紀要』第45号、(pp.141-149)。

杉崎京太 (2016) 「〈研究ノート〉 世界システムの GCES 構造と『制度設定者のレント』をめぐる闘争」2016年3月『津田塾大学紀要』第48号、(pp.39-48)。

鈴木鴻一郎編 (1960, 1962) 『経済学原理 上下』東京大学出版会。

- 佐美光彦 (1994) 『世界大恐慌』御茶ノ水書房。
- 武井邦夫 (1972) 『利子生み資本の理論』時潮社。
- 立石剛 (2000) 『米国経済再生と通商政策』同文館。
- 玉田美治 (2006) 『フランス資本主義』桜井書店。
- 戸原四郎 (2006) 『ドイツ資本主義』桜井書店。
- 高山与志子 (2001) 『レイバー・デバイド 中流崩壊』日本経済新聞社。
- 中村泰治 (2005) 『恐慌と不況』御茶ノ水書房。
- 中山弘正 (2003) 『現代の世界経済』岩波書店。
- 馬場宏二 (1986) 『富裕化と金融資本』ミネルヴァ書房。
- 馬場宏二 (2005) 『もう一つの経済学 批判と好奇心』御茶の水書房。
- 日高晋 (1972) 『商業資本の理論』時潮社。
- 村上泰亮 (1992) 『反古典の政治経済学 上下』中央公論社。
- 百瀬宏 (1988) 『小国一歴史に見る理念と現実』岩波書店。
- 山口重克 (1998) 『商業資本論の諸問題』御茶ノ水書房。
- 山口重克編 (2004) 『新版 市場経済 歴史・思想・現在』名古屋大学出版会。
- 湯沢威編 (1996) 『イギリス経済史』有斐閣。
- Deutsche Bundesbank *Monthly Report*.
- Deutsche Bundesbank *International Capital Links*.
- England Bank *Monthly Report*.
- U. K. HM Treasury, *UK Membership of the Single Currency: An assessment of the five tests* (HM Treasury, Cm5776, 2003)
- Department of Commerce, U.S. *Survey of Current Business*. Anderson J. (1999) *German Unification and the Union of Europe*, Cambridge U.P., Cambridge.
- Barbour, P. ed. (1996) *The European Union Handbook*, Fitzroy Dearborn Publishers, Chicago.
- Barrell, R. and Pain, N. (1999) *Innovation, Investment and the Diffusion of Technology in Europe*, Cambridge University Press, Cambridge.
- Bergasten, F. et al. (2005) *The United States and the World Economy*, Washington D.C. IIE.
- Bhagwati, Jagdish, *In Defense of Globalization*, (Oxford University Press.) ジャグデイッシュ・バグワティ著、鈴木主悦・桃井緑美子訳『グローバリゼーションを擁護する』日本経済新聞社。
- Bishop, M. and Kay, J. (1993) *European Mergers and Merger Policy*, Oxford U. P., Oxford.
- Bloomfield Jr., James A. (2002) *Global Markets and National Interests: The new geopolitics of energy, capital and formation*, The CSIS Press, Washington.
- Buckley, P. J. (1995) *Foreign Direct Investment and Multinational Enterprises*, Macmillan, London.
- Burrows, R. & Loader B. ed. (1994) *Towards a Post-Fordist Welfare State?* London, Routledge.

- Burton, F., Yamin, M. and Young, S. (1996) *International Business and Europe in Transition*, Macmillan, London.
- Buxton, T., Chapman, P. and Temple, P. (1994) *Britain's Economic Performance*, Routledge, London.
- Cadot, O. Gabel, H.L. Story J. and Webber, D. (1996) *European Casebook on industrial and Trade Policy*, Prentice Hall, London.
- Chisholm, M. (1995) *Britain on the edge of Europe*, Routledge, London.
- Cochrane, A. & Clarke J. ed. (1993) *Comparing Welfare States: Britain in International Context*, The Open University, Sage Publications.
- Cool, K., Neven, D. J. and Walter, I. (1992) *European Industrial Restructuring in the 1990s*, Macmillan, London.
- Crawford, M. (1993) *One Money for Europe?*, Macmillan, London.
- Crompton, Rosemary (1998) *Class and Stratification*, 2nd ed. Cambridge, Polity Press.
- Dent, C.M. (1997) *The European Economy: The Global Context*, Routledge, London.
- Dicker, P. (1998) *Global Shift: Transforming the World Economy, Third Edition*, London, Paul Chapman Publishing.
- Dobson, A. P. (1995) *Anglo-American Relations in the Twentieth Century*, London, Routledge.
- Doremus, P. N., Keller, W. M., Pauly, L.W. and Reich, S. (1998) *The Myth of the Global Corporation*, Princeton Univ. Press.
- Dow, C. (1998) *Major Recessions*. Oxford U.P.
- Dunning, J. H. ed. (1997) *Governments, Globalization, and International Business*, Oxford University Press, Oxford.
- Dunning, J. H. (1993) *Multinational Enterprise and the Global Economy*, Addison-Wesley, Wokingham.
- Dyson, K. & Featherstone, K. (2003) *The Road to Maastricht*, Oxford U.P.
- Esping-Andersen, Gosta (1990) *The Three Worlds of Welfare Capitalism*, Cambridge, Polity Press.
- European Commission (1998) *The Competitiveness of European Industry 1998 Report*, Luxembourg.
- European Commission (1999) *European Union Direct Investment Yearbook 1998: Analytical Aspects*, Luxembourg.
- European Commission (1999) *Panorama, 1998*, Luxembourg.
- Felstead, A. and Jewson, N. (1999) *Global Trends in Flexible Labour*, Macmillan, London.
- Friedman, T. L. (2005) *The World Is Flat: A Brief History of the Twentieth Century. Updated and Expanded Edition*
- Friedman, T. L. (2005) *The World Is Flat: A Brief History of the Twentieth Century. Updated and Expanded Edition*. 伏見威蕃訳『フラット化する世界 経済の大転換と人間の未来 上下』日本経済新聞社。
- Fynes, B. and Ennis, S. (1997) *Competing from the Periphery: Core Issues in International Business*, The

- Dryden Press, London.
- George V. & Wilding P. (1999) *British Society and Social Welfare*, London, Macmillan.
- George, S. (1998) *An Awkward Partner: Britain in the European Community, Third ed.* Oxford University Press.
- Gilpin, R. (2000) *The Challenge of Global Capitalism: The world economy in the 21st century*, Princeton University Press, 古城佳子訳『グローバル資本主義 危機か繁栄か』東洋経済新報社。
- Goodman, A., Johnson, P. & Webb, S. (1997) *Inequality in the UK*, Oxford Univ. Press.
- Grauwe, P. de (1992) *The Economics of Monetary Integration*, Oxford U.P., Oxford. 金俊昊訳『通貨統合の経済学』文真堂、1995年。
- Grauwe, P. de (1992) *The Economics of Monetary Integration*, Oxford U.P., Oxford.
- Gros, d. & Thyngensen, N. (1998) *European Monetary Integration, 2nd ed.* Longman.
- Hardt, M. & Negri, A. (2000) *Empire*, Harvard University Press.
- Held, D., McGrew, A. Goldblatt, D. & Perraton, J. (1999) *Global Transformations: Politics Economics and Culture*. 古城利明・臼井久和・滝田賢治・星野智訳『グローバル・トランスフォーメーションズ 政治・経済・文化』中央大学出版部。
- Hertz, Noreena (2001) *The Silent Takeover: Global Capitalism and the Death of Democracy*, The Free Press, NY.
- INSEE (1997) *Tableaux de l'Économie Française 21e édition*.
- James, H. (2001) *The End of Globalization: Lessons from Great Depression*, Harvard University Press, 高遠裕子訳『グローバリゼーションの終焉』日本経済新聞社。
- Joint, P, Courbon, J. P., Pauline, M. et Viau, J.-C. (1992) *La Géographie de l'Europe des 12*, Nathan, Paris.
- Joseph Rowntree Foundation (1995) *Inquiry into Income and Wealth, Vol.1*, York, Joseph Rowntree Foundation.
- Kahler, M. (1998) *Capital Flows and Financial Crisis*, Manchester Univ. Press.
- Karl Polanyi, *Great Transformation*, 1957. 吉沢英成・野口健彦・長尾史郎・杉村芳美訳『大転換』東洋経済新報社、1975年。
- Keasey, K., Thompson, S. and Wright, M. eds. (1997) *Corporate Governance*, Oxford Univ. Press.
- Kenen, P. B. (1995) *Economic and Monetary Union in Europe*, Cambridge U.P., Cambridge.
- Kindleberger, C.P. (1987) *International Capital Movements*. Cambridge U.P. 長谷川聰哲『国際資本移動論』多賀出版、1991年。
- Krugman, P. (1999) *The Return of Depression Economics*, New York, W.W. Norton & Company.
- Marais, Hein (1998) *South Africa: Limits to Change: The Political Economy of Transformation*, UCT Press (Pty) Ltd.
- Milner, H. (1989) *Sweden: Social Democracy in Practice*, Oxford University Press.

- Mundell, R. A. (1961) "A theory of optimum currency policy areas". *AER* 51 (September).
- Nicolas Crafts and Gianni Toniolo, eds. (1996) *Economic Growth in Europe since 1945*, Cambridge U.P..
- Niehans, J., (1984) *International Monetary Economics*, The John Hopkins University Press. 天野明弘・井川一宏・出井文男訳『国際金融のマクロ経済学』東京大学出版会、1986年。
- Nye Jr., J. S. (2002) *The Paradox of American Power: Why the World's only superpower can't go it alone*, Oxford University Press.
- O'Connor, J., Orloff, A. H. & Shaver, S. (1999) *States, Markets, Families: Gender Liberalism and Social Policy in Australia, Canada, Great Britain and the United States*, Cambridge University Press.
- Oliver de Bandt, Heinz Hermann, Giuseppe Parigi eds., *Convergence or Divergence in Europe? : Growth and Business Cycles in France and Germany and Italy* (Springer, 2006)
- Oppenheim, C. & Harker, L. (1996) *Poverty: the facts*, London, Child Poverty Action Group.
- Ovendale, R. (1998) *Anglo-American Relations in the Twentieth Century*, London, Macmillan.
- Pelkams, J. (1997) *European Integration*, Pearson Education. 田中素香訳『EU 経済統合 深化と拡大の総合分析』文真堂、2004年。
- Pierson, C. (1998) *Beyond the Welfare State, 2nd ed.*, Cambridge, Polity Press.
- Reich, R. B. (1991) *The Works of Nations: preparing Ourselves for 21st-Century Capitalism*. 中谷巖訳『ザ・ワークス・オブ・ネーションズ 21世紀資本主義のイメージ』ダイヤモンド社。
- Sassen, S. (1998) *Globalization and Its Discontents*, New York, The New Press.
- Standing, G. (1999) *Global Labour Flexibility*, Macmillan, London.
- Stiglitz, J. E. (2002) *Globalization and Its Discontents*, New York, W.W.Norton & Company 鈴木主悦訳『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』徳間書店。
- Tindale, S. (1996) *The State and the Nations*, London, IPP.
- UNCTAD (1996) *Transnational Corporations and World Development*, ITP, London.
- Wallace, C. D. and Kline, J. M. (1992) *EC 92 and Changing Global Investment Patterns*. Centre for Strategic and International Studies, Washington DC.
- Yergin, D. & Stanislaw, J. 1998, *The Commanding Heights: The Battle for the World economy*, A Touchstone Books, N.Y. 山岡洋一訳『市場対国家『市場対国家(上)(下)』日本経済新聞社。

